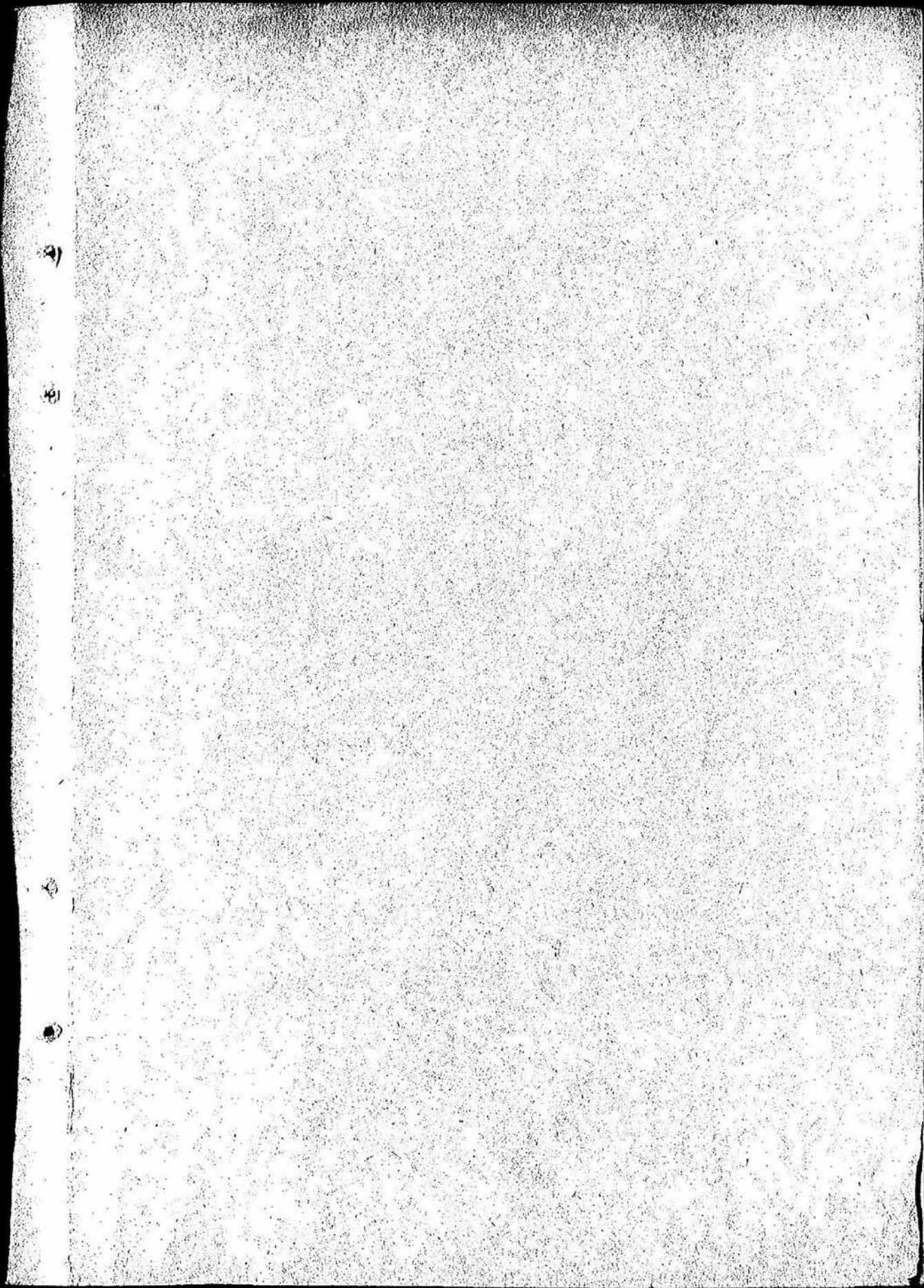


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

昭和十四年十一月三十日

特別高等警察執務心得

国立公文書館	
分類	3 A
配架番号	15
	2-5



特別高等警察執務心得

2-5
5

叢
書

SHIPPING AMOUNT
PACK #
ITEM #

10/03

国立公文書館	
分類	④ ①
配架番号	3 A
	15
	2-5

裏
面
白
紙

内訓特高秘發第四八〇號

警察署

特別高等警察執務心得別冊ノ通相定メ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

右内訓ス

昭和十四年十一月三十日

長野縣知事 富田健治

附則

左ノ内訓及内示ハ之ヲ廢止ス

大正十五年十月一日内訓特高秘收第二三、六〇九號

勞働問題取扱内規

大正十五年十月一日内訓特高秘收第二三、六一〇號

農業勞働問題取扱内規

大正十年十二月十三日高秘收第一二、五九九號

朝鮮人ノ視察取締ニ關スル義ニ付内示

大正十一年四月十六日高秘收第三、九九一號

朝鮮人異動月報ノ義ニ付内示

大正十二年五月二十三日高秘收第五、五七二號

朝鮮人勞働者募集阻止ニ關スル件

大正十二年十一月十四日高秘發第一五三號

朝鮮人異動月報改正ノ件

大正十三年五月三十日高秘收第一三、三六二號

朝鮮人ノ内地渡航ニ關スル件

昭和二年九月十四日特高秘收第二三、四三三號

無産政黨取扱方ニ關スル件内示

昭和五年八月七日甲特高秘發第一七六號

天理教信者視察方ノ件

昭和七年三月二十二日特收第一〇、七八二號

國家又ハ國民社會主義ヲ標榜スル團體ノ取締ニ關スル件

昭和九年二月一日特高秘甲發第六四號

朝鮮人留學生名簿作成ニ關スル件

昭和九年二月二十一日甲特高秘收第八、七二五號

内地在留朝鮮人戸數人員ニ關スル件

昭和九年六月二十三日特高秘發第三三五號

朝鮮人ノ犯罪等報告ニ關スル件

昭和九年七月三十日甲高秘發第一四八號

皇道大本敬視察ニ關スル件

昭和九年八月一日甲特高秘發第四四六號

在留朝鮮人名簿様式改正整備ト視察取締ニ關スル件内示

昭和十年二月八日特高秘發第一〇〇號

在留朝鮮人ノ視察取締ト一般狀況報告ニ關スル件

昭和十年三月十三日甲特高秘發第一八〇號

産業組合青年聯盟名簿調製ニ關スル件

昭和十年四月十二日特高秘發第二八〇號

右要注意者名簿送付ニ關スル件

昭和十年六月十日甲特高秘發第三九九號

拘留又ハ檢束者等報告ニ關スル件

昭和十年十月三十日特高秘發第六七四號

右要視察要注意者動靜視察ニ關スル件

昭和十年九月七日特高秘發第五四八號

右要視察要注意者動靜視察ニ關スル件

昭和十一年五月二十二日甲特高秘發第二六五一〇號

信仰團體ノ檢束取締ニ關スル件

昭和十一年五月二十六日甲特高秘發第三〇〇號

宗教警察ノ強化伸張ニ關スル件

昭和十一年七月二十一日甲特高秘發第二八二號

宗教運動ノ動向內査ニ關スル件

昭和十一年八月八日甲特高秘發第四九、六〇〇號

類似宗教團體名簿調製方ノ件

昭和十二年二月十八日甲特高秘發第九五號

集會取締ニ關スル件內示

昭和十三年八月五日甲特高秘發第九、五六七號

一時露鮮證照發給ニ關スル件

特別高等警察執務心得

第一章 總則

第一條 特別高等警察（以下特高等警察ト稱ス）ハ國家存立ノ根本ヲ破壞シ若ハ社會ノ安寧秩序ヲ攪亂セムトスルガ如キ各種社會運動ヲ防止鎮壓スルヲ以テ主タル任務トス

社會運動ニシテ合法濺健ナルモノハ固ヨリ之ヲ抑壓スベキニ非ズト雖モ苟モ其ノ目的若ハ手段ニシテ違法ヲ干犯シ又ハ奇矯過激ニ亘ルモノニ對シテハ取締ヲ加フベキモノトス

第二條 各種社會運動ニ對シテハ非合法ノモノハ勿論、合法ノモノト雖モ常ニ周匝綿密ナル視察ヲ加ヘ運動ノ因ヲ來ル所以ト其ノ實情トヲ明ニシ且絶エズ其ノ動向ヲ注意シ苟モ不法不軌ノ舉動ニ出ヅルノ餘地ナカラシムベシ

第三條 各種事件ノ取締ニ當リテハ事ノ真相ヲ究明シ寬ニ流レズ嚴ニ失セズ適切妥當ノ方法ヲ講ズルニ細心ノ注意ヲ拂ヒ一旦其ノ執行ニ當リテハ苟モ

遲疑逡巡スルガ如キコトナク毅然トシテ之ヲ斷行スル處アルヲ要ス

第四條 視察ニ當リテハ取締ヲ要スベキ人物又ハ團體ノ認定ニ過誤ナキヲ期シ取締ヲ要スベキモノヲ警察視線外ニ進セザルニ努ムルト共ニ其ノ必要ナキモノニ無用ノ視察ヲ加フルガ如キコトナキヤウ留意スベシ

第五條 視察ヲ行フガ爲業務ヲ妨ゲ或ハ無用ニ反感ヲ挑發シ却テ思想ヲ惡化セシムルガ如キコトナキヤウ注意スベシ

第六條 特高等警察ニ從事スル者ハ常ニ國體ノ本體ニ關シ確固不拔ノ信念ヲ抱持シテ其ノ任ニ當ルト共ニ事ニ臨ミテハ率先躬ヲ挺シテ公ニ奉ズルカ

めくれず

覺悟アルヲ要ス

第七條 特高警察ニ從事スル者ハ平素ヨリ社會運動全般ノ情勢及關係法令ニ通曉スルニ努メ事ニ當リテハ正確ナル判斷ト適切ナル措置ヲ爲スニ課リナキヲ期スヘシ

特高事務員ハ勿論一般警察官ニ對シテモ講習會ノ開催其ノ他ノ方法ニ依リ常ニ必要ナル敎養訓練ヲ爲スヘシ

第八條 特高警察ニ從事スル者ハ機密ノ保持ニ付格別ノ注意ヲ爲スヘシ

視察内偵ニ當リテハ其ノ意圖ヲ相手方ニ察知セラレ又ハ不用意ノ間ニ警察上ノ機密ヲ口外スルガ如キコトナキヤウ注意スヘシ

第九條 前條第二項ニ釋シテハ他署他廳府縣等ヨリ手配照會アリタル場合特ニ注意スヘシ

第十條 特高警察ハ其ノ性質上共同一体トナリ統制アル活動ヲ爲スヲ必要トスルヲ以テ常ニ警察部トノ連絡ニ留意スルハ勿論各警察署相互間ニ於テ緊密ナル連絡共助ヲ爲スニ努ムヘシ

檢察當局其他關係官署トノ間ニモ緊密ナル連絡ヲ保持スルニ努ムヘシ

第十一條 各種事件ノ檢舉取締ヲ爲サムトスルトキハ緊急其ノ他已ムヲ得ザル場合ノ外、事前ニ申報指撥ヲ受クヘシ

第十二條 他署又ハ他廳府縣管下ニ於テ捜査ヲ爲ス必要アル場合ハ事由ヲ具シテ豫メ由報指撥ヲ受ケ共助ヲ求ムルニ遺憾ナカラシムヘシ

第十三條 他署管内ニ關係アル事項ハ勿論特異ノ事項ニシテ取締ノ參考トナルヘキモノハ相互通報シテ狀勢ノ熟知ニ努ムヘシ但シ機密ヲ要スル事項、

非合法關係事項ニ對テハ一應指撥ヲ受クヘシ

注意ヲ要スヘキ人物ニシテ他署又ハ他廳府縣ニ立廻リタルトキ又ハ他署又ハ他廳府縣ニテ捜査中ト目セラルル人物ヲ發見又ハ檢舉シタルトキハ速報

めくれず

スベシ

第十四條 申通報ハ内容ノ要點ヲ逸セザル様留意スベシ申通報ハ正確ヲ要スルハ勿論ナルモ時宜ヲ失スルトキハ其ノ價值ヲ喪失スルヲ以テ特ニ之ガ送達迅速ヲ期スルハ勿論狀勢ノ一時ニ纏リ難キモノハ順次追報完全ヲ期スベシ

第十五條 申通報ハ本執務心得若ハ別ニ定メタル場合ノ外警察以外ノ官廳ニ對シテ之ヲ爲サザル様留意スベシ

第十六條 警察關係應以外ニ通報ヲ爲ス場合ニ於テハ警察機密ニ關スル用語（例ヘバ特別要視察人）ヲ用ヒザルヤウ留意スベシ

第十七條 申通報文書ハ總テ二重封筒トシ嚴緘ノ上其ノ封皮ニ「特親展」ト明記スベシ

第十八條 申通報文書ハ文字及文章ヲ明瞭簡潔ニシ本文ノ前ニ其ノ要旨ヲ

摘記スベシ

第十九條 申通報文書ハ其ノ管轄ニ申通報先各官廳名ヲ列記スベシ同一事件ノ申通報ニシテ數回ニ亘ルモノアルトキハ每報毎ニ前報ノ日附番號ノ外第何報ナルカラ記入シ前後ノ關係ヲ明ニスベシ

第二十條 警察官廳以外ノ官廳ヨリノ照會文書ニ對シテハ回答前一應稟伺ノ上措置セラルベシ

第二十一條 特ニ極秘ヲ要スル事項ニ付テハ一應電話其ノ他ノ方法ニ依リ警察部ト打合セタル上申報スベシ

第二十二條 社會運動ニ關スル印刷物ニシテ特高警察上注意ヲ要スベキモノヲ發見シタルトキハ現品（現品ナキトキハ成ルベク 寫）添附ノ上申報スベシ別ニ行政處分稟議ノ爲進達シタル場合ト雖モ亦同ジ

第二十三條 特ニ定メタル様式ニ依ル申通報文書ニシテ警察署名ヲ附シタ

ルモノハ別ニ進達書ヲ添附スルニ及バズ

第二十四條 電信ニ依リ申通報ヲ爲ス場合ハ必要ニ應ジ暗號ヲ使用シ又略號ノ定メルモノハ之ヲ使用スベシ

第二十五條 電話ニ依ル申通報ハ必ず相手官署ノ當該事務責任者若ハ相當責任者ニ對シテ之ヲ爲シ用語ヲ明瞭簡潔ニシ其ノ要點ヲ失セザルヤウ留意スベシ

第二章 視察取締

第一節 各種社會運動

第二十六條 各種ノ社會運動ニ關シ團體ヲ組織スルモノアリタルトキハ之ガ組織ノ動機、經過、主ナル構成人物、團體ノ目的主義、綱領、實勢力他團體トノ關係其ノ他各種ノ所要事項ヲ速ニ調査報告シ充分其ノ實体ヲ審ニスルト共ニ爾後ノ推移ニ付不斷ノ注意ヲ爲スベシ

團體ノ日常行動、指導精神ノ推移、指導者ノ動靜等ニ付テハ特ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ矯激ナル主張行動ニ趨ルガ如キ場合ニハ嚴重ナル取締ヲ加フベシ

思想問題、社會問題其ノ他ノ研究等ニ關シ團體ヲ組織スルモノアリタルトキハ前二項ニ準ジ之ガ視察取締ヲ爲スベシ

第二十七條 團體ニ對スル視察ニ關シテハ特ニ裏面ノ主張行動、背後ノ人物、資金ノ出所、團體内部ニ於テ潜在的勢力アル者等ノ内査ニ意ヲ用フベシ

第二十八條 各種團體ノ機關紙、指令其ノ他ノ重要文書等ハ努メテ之ヲ入手シ取締ノ參考ニ資スルト共ニ進達シ關係警察署ニ送付スベシ

集會多衆運動ニシテ重要ナルモノ又ハ會館集會場其ノ他ノ施設ニシテ特異ナルモノ等取締上參考トナルベキモノハ成ルベク之ヲ撮影進達スルト

共ニ特別要視察人視察内規第三十二條ニ準ジ整理保存スベシ

第二十九條 學生運動ノ視察取締ニ當リテハ特ニ學校當局トノ連絡ヲ緊密ニスベシ

第三十條 過激ナル社會運動ニ付テハ常ニ其ノ全國的情勢殊ニ各團體ノ中央部ノ情況ヲ知悉シ置クニ努メ管内ニ於ケル各種ノ事情ヲ照合シ此種運動ノ潛入スル虞アル方面ニ對シ特ニ嚴密ナル警戒ヲ加フベシ
 常ニ管内ニ於ケル尖銳分子殊ニ中央方面トノ連絡ニ從事シ易キ人物ノ動靜ニ注意シ管内ノ此種運動ノ動向並中央方面ノ運動トノ關係ヲ知悉シ置クニ努ムベシ

第三十一條 過激ナル主義ノ宣傳煽動ノ爲ニ發行配布スル機關紙其ノ印刷物ニ對シテハ速ニ之ヲ押收シ現品添附申報シ其ノ出所ヲ探査スル等適當ノ措置ヲ講ズベシ平素ヨリ管内印刷所活版所ニ對スル視察ヲ嚴ニシ

此種印刷物ノ發見ニ努ムルト共ニ其ノ記事ニ充分ナル検討ヲ遂ゲ視察取締上參考トナルベキ事項ヲ知ルニ努ムベシ

第三十二條 過激團體ニ加盟セザルモ此種運動ニ資金物資宿所等各種ノ利便ヲ提供シ間接ニ之ヲ援助セムトスル者ニ對シテハ嚴密ナル視察取締ヲ加フベシ

第三十三條 過激ナル社會運動ハ檢舉取締ヲ受クル度無ク益其ノ方法巧敏トナリ絶エズ新シキ戰略戰術ヲ案出シテ執拗ナル宣傳煽動ヲ爲スヲ以テ平素ヨリ之ガ對策ヲ講究シ置クベシ

第三十四條 特高警察關係犯罪事件ノ端緒ヲ得タルトキハ速ニ申報指揮ヲ受クベシ

第三十五條 特高警察關係ノ犯罪檢舉ニ付テハ左記諸點ニ留意シ檢舉ヲシテ最モ效果的ナラシムルニ努ムベシ

一 事件ノ内容並檢舉ノ狀況等新聞紙其ノ他外部ニ洩レザル様注意スルコト。

ニ 檢舉並取調従事員ノ人選分擔及其ノ統制ニ付充分考慮スルコト。

三 檢舉豫定者ノ所在ヲ豫メ確知シ置クコト。

檢舉ニ著手シタルトキハ即時其ノ概要ヲ申報シ爾後其ノ進展狀況ニ付隨時申報スベシ

第三十六條 特高警察關係事件ニ付檢束又ハ拘留セムトスルトキハ已ムヲ得ザル場合ノ外其ノ狀況速報シ指揮ヲ受クベシ

前項ニ依リ檢束又ハ拘留シタル場合ハ第一號様式ニ依リ報告シ狀況ハ引續キ詳報スベシ

第三十七條 共產主義運動ニ對シテハ視察内偵ヲ周密ニシ早期ニ之ガ全貌ノ把握ニ努メ特ニ取締及檢舉ノ時機方法ニ考慮ヲ拂ヒ以テ此種運動ノ豫

防線壓ヲ期スベシ

第三十八條 共產主義運動ノ視察内偵ニ當リテハ特ニ左ノ各項ニ注意スベシ

一 日本共產黨其ノ他ノ地下潛行的運動ニ對シテ裏面内偵ニ主力ヲ注ギ其

ノ中心分子ノ動靜中央部トノ連絡關係出版物ノ早期入手等ニ依リ組織

ノ全貌把握ニ努ムルコト

ニ 合法ヲ擬裝シテ團體ヲ組織スルモノアルヲ以テ單ニ表面ニ現ハレタル

網領規約ノミニ依ルコトナク組織ノ經緯中心人物ノ思想傾向、他團體

特ニ極左團體トノ關係、國際連絡ノ有無等ヲ究明スルト共ニ發行文書

ノ内容ヲ仔細ニ檢討シ本來ノ指導精神並ニ實体ヲ明ニスルコト

三 既存ノ合法團體ヲ利用シテ策動スルモノアルヲ以テ恣翼團體ハ勿論其

ノ他廣ク各種團體ニ付キ其ノ動向ノ推移ニ注意スルコト。

第三十九條 共產主義思想抱持者ノ發見ニ努ムルト共ニ非轉向者ハ勿論擬裝轉向ノ疑アル者ニ付テハ悉ク之ヲ觀察圈内ニ置キ其ノ動靜ニ注意スベシ

第四十條 共產主義運動ニ關シ露國其ノ他海外方面トノ連絡ヲ爲サムトスルモノニ對シテハ左記通牒ノ趣旨ニ依リ觀察取締ヲ爲スベシ

一 過激思想宣傳取締ニ關スル件 (大正十四年六月十六日 内訓特高秘收第一一、七五一號)

ニ 露西亞關係邦人主義者等ノ取締ニ關スル件 (大正十四年十二月十一日 特高秘收第二四、五四三號)

第四十一條 所謂國家主義運動者中ニハ動モスレバ社會組織ノ急激ナル變革ヲ企圖シテ直接行動ニ訴ヘ若ハ之ヲ煽動セムトスルモノアルヲ以テ此種運動ニ對シテハ常ニ周密ナル觀察ヲ遂ゲ斯ノ如キ舉措ニ出ヅルノ餘地ナカラシムル様嚴重ナル取締ヲ加フベシ

第四十二條 國家主義團體ニ對シテハ特ニ其ノ急進的人物ノ潛行的活動ヲ爲スモノ背後ノ人物左翼分子ニシテ轉向ヲ擬裝シテ團體ニ潛入セル者等ヲ平素ヨリ審ニシ之等ノ者ノ動靜ニ付テハ常ニ周密ナル觀察ヲ遂ゲ其ノ旅行及轉住等ニモ細心ノ注意ヲ拂フベシ

第四十三條 國家主義團體ノ指導者等ノ側近人物或ハ一時寄寓者等ニ付テハ假令團體所屬員ニ非ズト雖モ其ノ動靜ニ不斷ノ注意ヲ拂フベシ

第四十四條 國家主義運動ノ活動分子ノ交際關係通信連絡等ニハ特ニ充分ナル内偵ヲ遂クベシ

第四十五條 直接行動ノ動機トナル虞アル過激ノ言論竝ニ流言蜚語ニ注意シ之ガ取締ヲ爲スベシ

第四十六條 國家主義運動ニ關スル所謂不穩文書ニ對シテハ極力之ガ入手ニ努ムルト同時ニ其ノ出所執筆者領布先等ノ探査ニ努ムベシ

前項ノ不穩文書ニ對シテハ第三十一條ニ準ジ措置スベシ

第四十七條 直接行動等ニ關シテハ流言蜚語ノ類ト雖モ細心ノ注意ヲ拂ヒ之ガ計劃ノ早期探知ニ努ムベシ

第四十八條 時事問題ニシテ國家主義運動者ノ策動スル虞アリト認メタルルモノニ付テハ豫メ之ニ留意シ申報其ノ他取締上機宜ヲ失セザルヤウ努ムベシ

第四十九條 國家主義運動ニ關スル不穩策動ノ聞込並ニ要途人物ノ行動等ハ事大小トナク速報スルト共ニ機密ノ保持ニ付格別ノ注意ヲ拂フベシ

第五十條 國家主義運動者ニシテ貴顯高官ヲ訪問シ或ハ身邊ニ追隨スルモノアルトキハ其ノ身元目的等ヲ内偵シ不穩ノ行動ニ出ヅル虞アル者ニ對シテハ嚴重取締ヲ爲スベシ

第五十一條 國家主義運動ノ美名ニ覆レテ暴行脅迫、詐欺囂喝等ニ依リ不正ノ利益ヲ得若ハ賣名ヲ圖ラムトスル者又ハ之等ノ團體ニ對シテハ嚴重ナル取締ヲ爲スベシ

第五十二條 私塾教化團體、修養團體等ノ形態ニ於テ結合スルモノト雖モ過激ナル社會變革ノ目的ヲ藏スルモノト認メラルルモノニ付テハ充分其ノ真相ヲ内偵シ置クベシ

第五十三條 水平運動ノ視察取締ニ關シテハ其言辭態度等ヨリ事端ヲ醸スコトナキヤウ注意スベシ

第五十四條 水平運動ハ直接行動又ハ大衆運動ニ陥リ易ク且左翼運動ニ利用セラル、コト多キヲ以テ嚴重取締ヲ爲スベシ
前項取締ニ當リテハ徒ニ彈壓スルコトナク同胞融和ノ實ヲ擧グル様指導スベシ

第五十五條 差別事件發生シタルトキハ第六十四號様式ニ依リ速報スルト共ニ不穩過激ノ策動又ハ過當ナル要求等ニ出デシメザルヤウ嚴重取締ヲ爲スベシ

事件解決シタルトキハ其ノ狀況詳細申報スベシ

第五十六條 宗教團體中（類似宗教ヲ含ム）ニハ動モスレバ其ノ教義教理ニ反國体的思想ヲ内包シ巧ニ神示天啓等ニ假托シテ不敬不遜ノ妄説ヲ宣布セムトスルモノアルヲ以テ此種容疑ノ致宗團ニ對シテハ常ニ周密ナル視察内偵ヲ遂ゲ其ノ教説ノ思想的根柢ヲ把握スルニ努ムルト共ニ取締及檢舉ノ時機方法等ヲ誤ルコトナキヲ期スベシ

第五十七條 宗教運動ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル事項ヲ深知セル場合ハ嚴密ナル内偵ヲ遂ゲ狀況速報指揮ヲ受クベシ

一 宗教々師信者等ニシテ其ノ信仰對象ノ絕對性ヲ誇示シ又ハ教祖祖師等ノ尊嚴化ヲ圖ラムガ爲若ハ教義解釋ヲ歪曲シテ不敬不遜ナル言動ヲ爲スモノアルトキ

二 奇矯虛妄ノ教説ヲ流布シテ人心ヲ誑惑スルモノアルトキ

三 信者ノ信仰心理ヲ利用シテ財物搾取、風俗壞亂若ハ醫療妨害等ノ行爲アリタルトキ

四 献金寄附金合力募捨ヲ強削スルガ如キ行爲アリタルトキ

第五十八條 宗教團體宗教教師信者等ニシテ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ旨速報スルト共ニ爾後隨時之ガ狀況ヲ申報スベシ

一 政治、教育其ノ他注目スベキ運動ヲ爲サントスルトキ

二 各種紛争騒ヲ惹起セルトキ

三 展覽會講演會其ノ他特異ノ集會ヲ催シ若ハ多衆運動ヲ爲サントスルトキ

四 宗教ニ關スル印刷物機關紙ヲ發行シ又ハ之ニ關スル印刷物ヲ接受シタルトキ

五 教義ノ宣布葬祭ノ執行上特異ノ點アリタルトキ

第五十九條 類似宗教團體組織アリタルトキハ類似宗教團體名簿（第六十五號様式）ヲ作成シ各其ノ謄本ニ教則規約ヲ添附申報スベシ

第六十條 公認宗教ニ於テ新ニ教會所（宣道所、講社等）ヲ設置セル場合ハ教會所名簿（第六十六號様式）ヲ調製シ謄本ヲ申報スベシ

第六十一條 宗教教師又ハ信者間ノ修養相互連絡等ノ目的ヲ以テ團體ヲ結成セル場合ハ宗教教師信者團體名簿（第六十七號様式）ヲ作成シ謄本ヲ申報スベシ

第六十二條 前三條ノ名簿記載事項ニ異動ヲ生ジタル場合ハ其ノ都度異動事項整理ノ上申報スベシ

第二節 各種 爭議

第六十三條 勞動爭議、小作爭議、借家借地爭議、電燈爭議等各種爭議ニシテ純然タル經濟的紛議ニ過ギサルモノニ對シテハ濫ニ干涉スベキ

ニ非ズト雖モ之ガ推移ニ付テハ不斷ノ注意ヲ拂ヒ苟モ其ノ手段方法ニシテ過激ニ亘リ治安ヲ紊ルガ如キコトナカラシムルヤウ適切ナル取締ヲ爲スベシ

爭議ノ性質經濟的紛議ノ範圍ヲ逸脱シ過激思想ノ宣傳革命運動ノ訓練其ノ他不純不穩ノ目的達成ノ爲ニスルモノナルニ於テハ之ニ對シ嚴重ナル警戒取締ヲ加フベシ

第六十四條 爭議發生ニ際シ取締上過誤ナキヲ期スル爲平素ヨリ農村工場鑛山等ノ狀況、地主、工場主、鑛山主ト小作人、労働者トノ關係、小作人、労働者ノ意嚮並ニ動靜、農民組合、労働組合ノ狀況、要注意人物ノ出入又ハ動靜等ニ付十分知悉シ懼クニ努ムベシ

第六十五條 爭議ノ取締ニ付テハ左記事項ニ注意スベシ
一 當事者双方ニ對シ常ニ公正ナル態度ヲ保持シ濫ニ爭議ノ渦中ニ捲キ

込マレザルヤウ注意スルハ勿論殊更ニ嚴重ナル取締ヲ加ヘ却テ爭議ヲ激化セシムルガ如キコトナキヤウ注意スルコト

ニ爭議團本部ノ組織並ニ活動狀況等ノ視察内偵ヲ嚴密ニシ殊ニ秘密移動本部等ノ有無ニ注意シ諸種ノ不穩計劃實行ノ餘地ナカラシムルニ努ムルコト

三殊更ニ爭議ヲ誘發、煽動激化シ若ハ竊ニ外部ニアリテ爭議ヲ指導スルモノナキヤニ注意シ殊ニ極左分子ノ介入ニ對シ最モ嚴重ナル警戒取締ヲ加フルコト

四所謂暴力團等ヲ雇入レ若ハ自警團等ヲ組織シテ暴力行爲ニ訴ヘムトスルガ如キ場合ニアリテハ特ニ嚴重ナル取締ヲ加フルコト

五他警察署管内ニ關係アリ若ハ波及スル虞アル爭議ニ付テハ關係各警察署トノ連絡ヲ緊密ニスルコト

六公益事業ニ關スル爭議ニ對シテハ其ノ事業ノ性質ニ鑑ミ取締上特ニ慎重ナル考慮ヲ加フルコト

七爭議ニ關シ假處分等ノ強制執行アルトキハ裁判所又ハ執達吏等トノ連絡ヲ密ニスルコト

第六十六條 爭議ニ關シテハ所謂「ゼネスト」ヲ計畫シ若ハ之ニ導カントスル虞アルモノニ對シテハ嚴密警戒シ之ガ事前防止ニ努ムベシ

第六十七條 各種爭議ニ關シ新奇ナル戰術又ハ社會的影響尠カラザル戰術ヲ用ユルモノアリタル場合ハ其ノ狀況ヲ詳細ニ申報スベシ

第三節 集會及多衆運動

第六十八條 集會又ハ多衆運動ノ計畫ハ成ルベク早期ニ之ヲ探知シ公安ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ事前ニ阻止スベシ

第六十九條 屋外ニ於ケル國民大會、民衆大會、市民大會、勞働者大會、農民大會等ノ集會並多衆運動ハ從來慣行トシテ許容セラレ居ルモノヲ除キ原則トシテ阻止スベキモノトス

特ニ公安ヲ害スル虞ナシト認メ之ヲ許容セムトスルトキハ豫メ指揮ヲ受クヘシ

第七十條 集會又ハ多集運動ニ對スル取締ニ付テハ特ニ左記事項ニ注意スベシ

一 標語等ハ事前ニ内閣シ不穩當ノモノハ諒旨撤回セシムルコト

二 責任者ヲ定メシメ統制ヲ失ハシメザルヤウニスルコト

三 所謂警備員等ニシテ警察官ニ對抗セムトスルガ如キ意圖アルモノハ之ヲ設ケシメザルコト

四 必要ト認ムル場合ハ入場者又ハ參加者ノ身体検査ヲ爲スコト

五 場内又ハ途中ニ於テ宣傳ビラ等ノ撒布ヲ爲サシメザルコト

六 檢束等ヲ爲ス場合ニ於テハ混亂セシメザルヤウ注意スルコト

七 主催者又ハ參加者ニ於テ殊更ニ混亂ヲ生ゼシメ解散ニ導カムトスル計畫ナキヤニ留意スルコト

八 解散ヲ命ジ又ハ散會スル場合ニハ豫メ警察官ノ配置等ニ注意シ示威運動等ノ不穩當ノ行動ヲ移ラシメザルヤウ嚴重警戒スルコト

第七十一條 集會ニ於テ附議朗讀配布セラルベキ宣言綱領規約、議案、決議「メッセージ」等ハ事前ニ提出セシメテ内閣シ不穩當ノモノハ諒旨ノ上訂正又ハ撤回セシムヘシ

第七十二條 集會ノ臨監ハ成ルベク社會運動ニ通曉シ特高事務ニ經驗アル者ヲシテ之ニ當ラシムヘシ

講義論議ニ對シテハ成ルベク速記ヲ付スヘシ

第七十三條 屋外集會又ハ多衆運動ニ對シテハ其ノ場所時間順路參加者ノ服裝携帶品隊伍ノ編成、樂隊旗幟手旗等ニ付必要ニ依リ制限禁止又ハ變更ヲ加フヘシ

第七十四條 遠足會、慰安會、神社參拜、共同植付、共同刈取、抗議陳情其ノ他名義ノ如何ヲ問ハズ事實上屋外集會又ハ多衆運動ト認メラルモノニ對シテハ前數條ニ依リ取締ヲ爲スヘシ

第七十五條 非政黨集會ニ於テ政事ニ涉ルベキ事項ヲ論議スル虞アルモノニ對シテハ正規ノ届出ヲ爲サシメ政事集會トシテ取締ヲ爲スヘシ

第七十六條 思想團體、勞働團體、農民團體、各種學校ノ學生生徒等ニシテ社會問題ニ關スル講習會講演會又ハ研究會座談會等ヲ舉辦スル場合ニ於テハ必要ニ依リ前數條ニ準ジ取締ヲ爲スヘシ

第四節 朝鮮人及臺灣人

第七十七條 新ニ管内ニ歸入シタル朝鮮人(臺灣人)ニ對シテハ朝鮮人名簿(六十八號様式)正副二通ヲ作成シ正本ハ警察署ニ副本ハ當該受持區巡査駐在所及派出所ニ備付クヘシ

前項ノ名簿記載事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ都度整理スヘシ

第七十八條 在住朝鮮人(臺灣人)ニシテ縣内他ノ警察署管内ニ歸出シタルトキハ歸出地警察署ニ當該名簿正本ヲ送附シ副本ハ留驗ノ上保存スヘシ
縣内他ノ警察署管内ヨリ歸入シタル朝鮮人(臺灣人)ニシテ名簿ノ送附ナキモノニ對シテハ當該名簿ノ送付ヲ要求シ未ダ作成ナキモノニ付テハ其ノ署ニ於テ作成スヘシ

第七十九條 朝鮮人(臺灣人)關係ノ紛擾乃至犯罪等發生シタルトキハ其ノ重大又ハ特異ナルモノニ付テハ速報スルト共ニ其ノ他ノモノト併

セ第六十九號様式ニ依リ申報スベシ

第八十條 在住朝鮮人ノ密集地帯、稼働場所、飯場等ニ對シテハ絶エズ
嚴密ナル視察ヲ遂ゲ容疑人物ノ發見ニ努ムベシ

第八十一條 外地若ハ海外ヨリ渡來シ又ハ他廳府縣ヨリ轉入セル朝鮮人
(臺灣人)ニ對シテハ爆發物變裝武器拳銃短銃藥品其ノ他危險ノ處ア
ル物件ノ所持隱匿ニ對シ特ニ嚴重ナル檢索ヲ行ヒ之ガ發見ニ努ムベシ
前項ノ危險物ヲ發見シタルトキハ正規ノ手續ヲ經テ所持スルモノナリ
ヤ否ヤヲ調査スルト共ニ假令朝鮮(臺灣)内ニ於テ正規ノ許可ヲ受ケ
居ルモノナリト雖モ内地ニ於ケル之ガ攜帶ニ付テハ許可セザル方針ヲ
執リ事情已ムヲ得ザルモノハ申報指撥ヲ受クベシ

第八十二條 不正渡航ノ朝鮮人ヲ發見シタル際ハ渡航ノ目的、方法、所
持金、國語ノ解否、行先地、其ノ他必要事項ヲ調査シ速ニ申報指撥ヲ
受クベシ

前項取扱ニ際シテハ容疑不逞ノ人物ニ非ザルヤ特ニ嚴重ナル取調ヲ要
スルハ勿論ナルモ容疑ノ點ナキ限り單ニ不正渡航者ナルノ故ヲ以テ濫
ニ不當苛罰ノ取扱ヲ爲スガ如キコトナキ様注意スベシ

第八十三條 海外其ノ他ヨリ不逞不軌ノ行動ヲ目的トシテ内地ニ潛入ス
ル不逞人物ニ對シテハ必要ニ應ジ移動警察ノ實施見張檢索ノ勵行其ノ
他時々接客業者ニ對スル臨檢ノ執行等有效適切ナル手段ヲ講ジテ嚴重
ナル査察警戒ヲ行フノ外平素管内在住並來往朝鮮人ノ動靜ニ十分留意
スル等之ガ發見逮捕ニ付最善ノ努力ヲ拂フベシ

第八十四條 外地並ニ海外ニ在ル朝鮮人(臺灣人)主筆者ト内地在住同
志トノ連絡提携ニ對シテハ常ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ特ニ其ノ通信來往
ニ付嚴重ナル視察内偵ヲ爲スベシ

第八十五條 管内企業家ニシテ鮮内ニ於テ朝鮮人労働者ノ募集ヲ爲サムトスル者アルトキハ昭和十四年八月二十一日甲特高秘收第一〇、九二八號朝鮮人労働者内地移住並取締ニ關スル件内示ニ依リ取扱フベシ

第八十六條 在住朝鮮人（臺灣人）ニシテ各種公ノ議員ノ選舉ニ立候補シタル者アルトキハ第七條第一項五號ニ準ジ速ニ調査申報スベシ
在住朝鮮人（臺灣人）タル各種議員等ノ言動ニシテ重要ナルモノハ時々申報スベシ

第八十七條 中等學校程度以上ノ官公私立各種學校ニ在學中ノ朝鮮人（臺灣人）ニ付テハ毎年四月末現在ヲ以テ學生名簿（第七十號様式）ヲ作成進達スベシ

名簿ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ都度整理シ申報スベシ

第八十八條 朝鮮人、臺灣人タル學生及宗教家ノ勸導ニ付テハ充分注意シ

特異ノ言動ハ時々申報スベシ

第八十九條 内鮮融和ノ趣旨ニ悖ルガ如キ団体ノ組織ハ事前ニ之ヲ成立セシメザルヤウ適宜ノ措置ヲ講ズルト共ニ其ノ都度申報スベシ

第九十條 内地人關係ノ各種団体内ニ朝鮮人（臺灣人）ノ加盟者アル場合ニハ其ノ加盟員數主ナル加盟人物団体内ニ於ケル加盟員ノ地位並動靜其ノ団体自身ノ朝鮮（臺灣）問題ニ關スル策動ノ狀況其他所要事項ヲ調査シ必要ナル取締ヲ加フベシ

第九十一條 管内居住朝鮮人ニシテ一時歸鮮セムトスルニ際シ之ガ證明書ノ下付申請アリタル場合ハ左記各號ノ調査ヲ遂ゲ下付支障ナシト報メタル者ニ限り稟申ノ上二ヶ月以内ノ期間ヲ定メ第七十一號様式ノ一時歸鮮證明書ヲ下付スベシ

一歸來後歸鮮前ノ雇傭者ノ下ニ於テ同一職業ニ従事スルコトヲ宣誓セ

ル證明書下付願ヲ履傭主連署ニテ提出シアリヤ

ニ本人ノ最近撮影セル寫眞（縦概ネ六糎横概ネ四糎半身脱帽）二枚ヲ
添附シアリヤ

ニ本人ノ本籍住所職業氏名生年月日及歸鮮目的等ハ相違ナキヤ

四其ノ他證明書ヲ不正使用スルモノニ非ザルヤ

第九十二條 一時歸鮮者所在不明其ノ他ノ事由ニ依リ證明書未返納ノ場
合ハ事情ヲ申報スヘシ

第九十三條 一時歸鮮證明書ヲ下付シタル場合ハ其ノ月分ヲ翌月五日迄
ニ第七十二號様式ニ依リ申報スヘシ

第九十四條 朝鮮人勞働者ノ内地渡航照會ニ對シテハ

朝鮮人内地渡航制限ニ關スル件（昭和十三年八月五日
甲特高秘收第九五六號）及

朝鮮人勞働者ノ内地渡航取締ニ關スル件（昭和十四年二月六日
甲特高秘收第一一五〇號）

ニ依リ取扱ヒ回答書ヲ進達指揮ヲ受クヘシ

第三章 各種報告

第一節 定期報告

第九十五條 定期報告ヲ分チテ月報半年報及年報ノ三種トス

定期報告ハ必ズ所定ノ期限内ニ報告スヘシ但シ該當事項ナキトキト雖
モ其ノ旨申報スベシ

第九十六條 左記調表（月報）ハ毎月其ノ月中ニ發生セル該當事項ニ關
シ翌月五日迄ニ必着スルヤウ報告スベシ、但シ報告ノ様式ハ第二號樣
式乃至第七號樣式ニ依ルモノトス

記（月報）

治安維持法違反起訴者調

（第二號樣式）

- ニ勞働爭議（乙類）報告表
- 三勞働爭議ニ關スル犯罪檢舉調
- 四小作爭議ニ關スル犯罪檢舉調
- 五不正渡航朝鮮人調
- 六朝鮮人異動調
- 前項第二號（第三號樣式）ハ第三百三條第一項各號ニ該當セザル爭議（乙類）ニ付作成スルモノトス
- 第九十七條 左記調表（半年報）ハ毎年六月末及十二月末現在ニ依リ各半年中ニ發生セル該當事項ニ關シ夫々翌月十五日迄ニ必着スルヤウ報告スベシ、但シ報告ノ様式ハ第八號樣式乃至第十八號樣式ニ依ルモノトス

（第三號樣式）

（第四號樣式）

（第五號樣式）

（第六號樣式）

（第七號樣式）

年報

昭和十九年七月四日付警務局保安課
 林事務官より通報
 左記事項ハ前項ニ關シ之ハ報告ノ有略ス
 一、執務心得等（十八年関係）（半年報）
 二、差業別勞働者調
 三、勞働團體數調
 四、勞働團體數調
 五、事業主團體調
 六、主要農民組合現勢調
 七、農民團體數及加盟員數調
 八、土地立入禁止立毛差押其ノ他執行調
 九、小作爭議ニ因ル多衆動員其ノ他治安上注意スベキ事象調
 十、朝鮮人（臺灣人）職業別調
 十一、朝鮮人以上朝鮮人飯場調
 十二、朝鮮人配偶者調

（第八號樣式）

（第九號樣式）

（第十號樣式）

（第十一號樣式）

（第十二號樣式）

（第十三號樣式）

（第十四號樣式）

（第十五號樣式）

（第十六號樣式）

（第十七號樣式）

（第十八號樣式）

○ニ労働争議（乙類）報告表

（第三號様式）

○三労働争議ニ關スル犯罪檢舉調

（第四號様式）

○四小作争議ニ關スル犯罪檢舉調

（第五號様式）

○五不正渡航朝鮮人調

（第六號様式）

○六朝鮮人異動調

（第七號様式）

前項第二號（第三號様式）ハ第百三條第一項各號ニ該當セザル争議

（乙類）ニ付作成スルモノトス

○第九十七條 左記調表（半年報）ハ毎年六月末及十二月末現在ニ依リ

各半年中ニ發生セル該當事項ニ關シ夫々翌月十五日迄ニ必着スルヤ

ウ報告スベシ、但シ報告ノ様式ハ第八號様式乃至第十八號様式ニ依

ルモノトス

記（半年報）

○一労働団体調

（第八號様式）

○二労働団体數調

（第九號様式）

○三事業主団体調

（第十號様式）

○四産業別労働者數調

（第十一號様式）

○五主要農民組合現勢調

（第十二號様式）

○六農民団体數及加盟員數調

（第十三號様式）

○七土地立入禁止立毛差押其ノ他執行調

（第十四號様式）

○八小作争議ニ因ル多衆動員其ノ他治安上注意スベキ事象調

（第十五號様式）

○九朝鮮人（臺灣人）職業別調

（第十六號様式）

○十五人以上朝鮮人飯場調

（第十七號様式）

○十一朝鮮人配偶者調

（第十八號様式）

第九十八條 左記調査（年報）ハ毎年十二月末現在ニ依リ其ノ年中ニ發生セル該當事項ニ關シ翌年一月十五日迄ニ必差スルヤウ報告スヘシ但シ報告ノ様式ハ第十九號様式乃至四十七號様式ニ依ルモノトス

記（年報）

- 一 治安維持法違反檢査狀況調 (第十九號様式)
- 二 學内左翼團體調 (第二十號様式)
- 三 學生生徒ノ左翼運動關係檢査者調 (第二十一號様式)
- 四 思想團體調 (第二十二號様式)
- 五 國家（農本）主義思想團體調 (第二十三號様式)
- 六 國家（農本）主義聯合團體調 (第二十四號様式)
- 七 特高關係政黨本（支）部狀況調 (第二十五號様式)
- 八 特高關係政黨（又ハ團體）所屬議員數調 (第二十六號様式)

昭和十九年七月四日付警保局付安部
林事務官ノ通牒

犯罪檢査調

左記事項ハ當ノ間之ハ報告ノ有略ク

一 教員心得第九系用係（年報）
二 勞働團體經營共済教育其他
三 施設調

四 用スル不正行爲檢査件數調
五 以上ヲ有スル工場礦山等調

- 一 三 勞働團體經營共済教育其他 (第三十一號様式)
- 一 四 施設組合調 (第三十二號様式)
- 一 五 水平關係差別事件調 (第三十三號様式)
- 一 六 水平團體調 (第三十四號様式)
- 一 七 水平運動ニ伴フ犯罪檢査調 (第三十五號様式)
- 一 八 朝鮮人（臺灣人）團體別調 (第三十六號様式)
- 一 九 朝鮮人（臺灣人）世帯人員調 (第三十七號様式)
- 二 〇 朝鮮人（臺灣人）學生校等調 (第三十八號様式)

第九十八條 左記調査（年報）ハ毎年十二月末現在ニ依リ其ノ年中ニ發生セル該當事項ニ關シ翌年一月十五日迄ニ必着スルヤウ報告スヘシ但シ報告ノ様式ハ第十九號様式乃至四十七號様式ニ依ルモノトス

記（年報）

- 一 治安維持法違反檢舉狀況調 (第十九號様式)
- 二 學内左翼團體調 (第二十號様式)
- 三 學生生徒ノ左翼運動關係檢舉者調 (第二十一號様式)
- 四 思想團體調 (第二十二號様式)
- 五 國家（農本）主義思想團體調 (第二十三號様式)
- 六 國家（農本）主義聯合團體調 (第二十四號様式)
- 七 特高關係政黨（又ハ團體）部狀況調 (第二十五號様式)
- 八 特高關係政黨（又ハ團體）所屬議員數調 (第二十六號様式)

九 國家主義ニ關スル犯罪檢舉調

- 一〇 類似宗教團體調 (第二十七號様式)
- 一一 宗教犯罪及信仰ヲ利用スル不正行爲檢舉件數調 (第二十八號様式)
- 一二 常時使用労働者百人以上ヲ有スル工場礦山等調 (第二十九號様式)
- 一三 労働團體經營共済、教育其ノ他施設調 (第三十號様式)
- 一四 消費組合調 (第三十一號様式)
- 一五 水平關係差別事件調 (第三十二號様式)
- 一六 水平團體調 (第三十三號様式)
- 一七 水平運動ニ伴フ犯罪檢舉調 (第三十四號様式)
- 一八 朝鮮人（臺灣人）團體別調 (第三十五號様式)
- 一九 朝鮮人（臺灣人）世帯人員調 (第三十六號様式)
- 二〇 朝鮮人（臺灣人）學生校務調 (第三十七號様式)
- 二一 朝鮮人（臺灣人）學生校務調 (第三十八號様式)

- 二一朝鮮人教育程度調 (第三十九號樣式)
- 二二朝鮮人(臺灣人)出身道(州)別調 (第四十號樣式)
- 二三一時歸鮮證明書下附調 (第四十一號樣式)
- 二四內鮮人爭鬭事件原因調 (第四十二號樣式)
- 二五朝鮮人(臺灣人)犯罪調(刑法) (第四十三號樣式)
- 二六朝鮮人(臺灣人)犯罪調(特別法) (第四十四號樣式)
- 二七朝鮮人借地借家其ノ他紛爭議調 (第四十五號樣式)
- 二八朝鮮人(臺灣人)關係刊行物調 (第四十六號樣式)
- 二九朝鮮人保護救濟狀況調 (第四十七號樣式)

第二節 隨時報告

第九十九條 左記各號ノ一ニ該當スル團體ノ組織アリタルトキハ第四十

八號乃至第五十一號樣式ニ依リ各名簿ヲ調製シ速ニ進達スベシ

一事業主團體(勞働條件ニ關スル事項ヲ其ノ綱領ノ一トシ若ハ實質上之ニ關シ行動スル事業主ノ組織スル團體)又ハ其ノ支部(第四十八號樣式)

二勞働團體(勞働條件ノ維持改善ヲ其ノ綱領ノ一トシ若ハ實質上之ニ關シ行動スル勞動者(工場、鑛山、交通勞動者、大工、左官、石工、仲仕、人夫、日雇稼其ノ他)ノ組織スル團體)又ハ其ノ支部(第四十九號樣式)

三準勞働團體(修養共濟、親睦研究等ヲ目的トスル勞動者ノ組織スル團體(工場、鑛山、交通勞動者、大工、左官、仲仕、人夫、日雇稼其ノ他)ノ組織スル團體)(第五十號樣式)

四前各號團體ノ聯合會若ハ同盟會又ハ其ノ支部(第五十一號樣式)

第百條 前條團體（聯合會及同盟會ヲ含ム）ノ組織解散、消滅其ノ他名
 繼記載事項等ニ異動アリタルトキハ其ノ都度報告スベシ

第百一條 左記各號ノ一ニ該當スル労働爭議（甲類）ノ發生シタルトキ
 ハ直ニ爭議發生ノ場所工場鑛山等ノ名稱、發生年月日、事業ノ種類、
 資本金、企業ノ系統、事業主名（法人組織ニアリテハ代表者ノ氏名）
 使用労働者數（男女別）爭議參加者數、爭議發生ヲ見ルニ至リシ事情、
 要求事項關係労働組合ノ狀況等ノ事項ヲ具シテ報告スベシ（必要アリ
 ト認ムル場合ハ爭議發生ノ場所爭議國本部ノ位置ヲ示ス圖面ヲ添附ス
 ベシ）但シ左記一ニ一ニ該當スルモノニシテ工場閉鎖、同盟罷業
 若ハ怠業ヲ伴フモノ、其ノ他特ニ必要ト認ムルモノニ付テハ事件ノ要
 領ヲ電報若ハ電話ヲ以テ先ヅ報告スベシ
 一 常時使用労働者五百人以上ヲ有スル工場鑛山等ニ於ケル労働爭議

ニ 參加人員二百人以上ノ労働爭議

三 公益事業ニ於ケル労働爭議

四 工場閉鎖ニ伴フ労働爭議

五 同盟罷業若ハ怠業ヲ伴フ労働爭議

六 其ノ他特ニ注意ヲ要シ又ハ異例ニ屬スル労働爭議

前項ノ爭議解決シタルトキハ第五十二號様式ニ依リ爭議解決後五日以内
 ニ之ヲ報告スベシ

第百二條 前條ノ報告中爭議ノ原因、要求事項其ノ他爭議ノ要點ニ關シ
 テハ表裏ノ有無、若シ苟モ潜在的企圖アリト認メラルル場合ニハ其ノ
 事實ノ経緯等成ルベク詳細ニ報告スベシ

第百三條 常時百人以上ノ労働者ヲ使用スル工場、鑛山等ニ於ケル事業
 ノ休止、廢止、縮少其ノ他ニ因ル解雇者ヲ出シタル場合ハ第五十三號

様式ニ依リ報告スベシ

第四百四條 小作人団体、地主団体、地主小作人協同の団体及之等ノ支部ノ組織アリタルトキハ其ノ事務所々在地ノ警察署ハ第五十四號様式ニ依リ名簿ヲ作成進達スベシ

前項団体ノ解散、消滅、異動並ニ重要行動等ハ其ノ都度報告スベシ

第四百五條 小作人団体ノ青年部婦人部少年部ニ付イテハ前條ニ準ジテ取扱フベシ

第四百六條 小作争議ノ發生、經過、解決ニ付テハ第五十五號様式ニ依リ速ニ報告シ特ニ必要ト認ムルモノニ付テハ其ノ要領ヲ電話又ハ電報ヲ以テ先ヅ報告スベシ

第四百七條 特高關係政黨ニ關シテハ左記ニ依リ取扱ヲ爲スベシ

一 政黨ノ組織アリタルトキハ第五十六號様式ニ依リ名簿ヲ調製シ會則

規約等ヲ添附シテ進達スルコト

二 名簿各欄ノ事項ニシテ調査上時日ヲ要スルモノアルトキハ其ノ判明セラル部分ニ付名簿ヲ調製進達シ爾餘ノ事項ハ追報スルコト

三 名簿記載事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ旨報告スルコト

四 解散合併等ノ事由ニ依リ団体消滅シタルトキハ速ニ報告スルコト

五 政黨員ガ各種ノ選挙ニ立候補シタル場合ニハ第五十七號様式ニ依リ報告スルコト

六 選挙ニ關スル行動ニシテ注意ヲ要スルモノアルトキハ其ノ狀況ヲ報告スルコト

七 第五十七號様式ノ表進達後議員候補者タルコトヲ辭シタル場合ニハ其ノ事由及運動費用ヲ其ノ都度報告スルコト

八 選挙終了後五日以内ニ第五十八號様式ニ依リ申報スルコト

國家（農本）主義思想團體ノ所屬員ニシテ各種ノ選舉ニ立候補シタル
場合ニハ前項第五號乃至第八號ニ準ジ取扱ヲ爲スベシ

第百八條 左記各號ノ一ニ該當スル團體ノ組織アリタルトキハ第五十九
號樣式乃至第六十二號樣式ニ依ル名簿ヲ調製シ會則規約等ヲ添附ノ上速ニ之
ヲ進達スベシ

進達ヲ爲シタル後團體ノ解散消滅其ノ他名簿記載事項ニ異動アリタル
トキハ其ノ都度報告スベシ

一 國家（農本）主義思想團體 (第五十九號樣式)

二 消費組合 (第六十號樣式)

三 朝鮮人（臺灣人）（又ハ朝鮮問題ニ關スル）團體 (第六十一號樣式)

四 水平團體、反水平團體及融和團體 (第六十二號樣式)

五 借地借家人（地主、家主）團體 (第六十二號樣式)

六 思想問題、社會問題其ノ他研究團體 (第六十二號樣式)

七 產業組合青年聯盟 (第六十二號樣式)

八 其ノ他各種社會運動ニ關スル團體 (第六十二號樣式)

第百九條 治安維持法違反事件被疑者ヲ檢舉シタル場合ハ其ノ都度速ニ
第六十三號樣式ニ依リ報告スベシ

第三號様式

労働争議(乙類)報告表(月分)

年月日

警察署

争議発生 場所並 工場礦山等 名稱	業種	事業 主名	當該工場礦山 等ニ於テ使用 労働者總數及 争議参加人員數		總計		参加人員		總計		發生 年月日	結 終 年月日	争議發生 ノ見ルニ 至リテ事情 ノ概要	要求事項 解決條件	要求事項 解決條件 對立之キ 争議發生 時勞働條件 或否	争議關係 者ノ 別 及之 對立 ノ 態 度	争議關係 者ノ 數 及之 對立 ノ 態 度	争議關係 者ノ 數 及之 對立 ノ 態 度	争議關係 者ノ 數 及之 對立 ノ 態 度	
			男	女	男	女	男	女	男	女										

注意

- 一、其ノ月中ニ發生シタルモノ及解決シタルモノニ付テ記入スルコト尚其月以前ニ發生シタルモノモ引續キ未解決ナルモノノ記載スルコト
- 二、總人員参加人員中ノ労働組合員數ハ(一)ヲ附シテ内書スルコト

第四號様式

労働争議ニ關スル犯罪檢舉調(月分)

年月日

警察署

争議發生工場礦山等名稱及所在地	檢舉月日	争議ノ始 終期	犯罪ノ日 時及場所	犯罪事實概要	罪名及適用 法條	檢舉 人員	處分ノ結果

注意

- 一、本調ハ即決處分ニ付シタルモノ及檢舉ニ付テ送致シタルモノニ付調査スルコト
- 二、檢舉事件各一件ヲ一欄ニ記載スルコト
- 三、檢舉人員中ノ女アルトキハ(一)ヲ付シテ内書スルコト
- 四、處分未決ナルモノハ其ノ旨未書シテ亦後處分確定ノ都度追報スルコト
- 五、檢舉總人員中ノ労働組合員數以外ノモノアルトキハ其ノ内詳ハ(一)ヲ付シテ内書スルコト

報年半

産業別労働者数調（月末現在）

年月日 報

警察署

種別	官		營		民		營		計
	男	女	計	男	女	計	男	女	
工工場									
業其他									
鑛業									
運輸交通									
通信業									
土木建築業									
瓦斯電気水道業									
農業									
水産業									
日傭労働者									
計									

注意

- 一、労働者トハ主トシテ筋肉労働ニ従事シ労働賃銀ニ依リ生活スル者ヲ云フ
- 二、高級船員會社事務員タイムスト電話交換手看護婦商業並ニ家庭使用人小使小作人等ハ之ヲ含まズ
- 三、産業別分類ハ産業分類表ニ依ルコト（執務心得未尾ニ添付ス）
- 四、工業欄中ニ其ノ他ノ業内工業業其他工場労働者ニアラザル工業労働者ヲ云フ
- 五、倉庫業ニ従事スル労働者ハ運輸交通通信業欄ニ計上スルコト

第十二號樣式

報年半

主要農民組合現勢調 (目未現在)									
年 月 日 報 警 察 署									
名 稱	事務所在地	中心人物	所屬支部名	支部員數	支部中心人物	地 址	備 考	昭 和 何 年 何 月 創 立	
大日本農民組合	何 何 何 何 何	執行委員長 何 何 某	何 々 支部	何 々	何 某	何 々		昭 和 何 年 何 月 創 立	昭 和 何 年 何 月 創 立
何 々 府 縣 聯 合 會								昭 和 何 年 何 月 創 立	昭 和 何 年 何 月 創 立
何 々 組 合								昭 和 何 年 何 月 創 立	昭 和 何 年 何 月 創 立
何 々 組 合								昭 和 何 年 何 月 創 立	昭 和 何 年 何 月 創 立
何 々 組 合								昭 和 何 年 何 月 創 立	昭 和 何 年 何 月 創 立

注意
 一、本調、全國的組織、組合(其、組織ニ府縣以上ニ渉ルモノヲ謂フ)ハ總テ之ヲ掲記スルコト
 二、本調ニ前掲ノ外、一府縣内ノ組織ニ有スル組合(其、組合員二百名以上ノモノハ之ヲ掲記スルコト
 三、府縣聯合會ニ所屬スル支部ニ直屬スルモノハ其、旨備考欄ニ附記スルコト
 四、青年部婦人部及少年部等設アルモノハ支部ニ連心掲記ニ備考欄ニ其、本都府縣聯若支部ノ何ニ所屬スル
 モノナルヤヲ明記スルコト

第十三號樣式

報年半

農民團體數及加盟員數調 (目未現在)			
年 月 日 報 警 察 署			
種 別	團 體 數	加 盟 員 數	
地主團體			
土地會社			
小作人團體			
地主協調的團體			

注意
 一、小作人團體數及加盟員數欄ニ、單獨組合ハ勿全國的組織ノ組合ヲモ計上スルコト
 二、小作人團體中聯合會組織ノモノハ支部ヲ一團體トシテ計上スルコト
 三、地主團體、地主小作人協調的團體ニ付テモ右ニ同ジ
 四、土地會社、小作人ニ對抗的性質ヲ有スルモノヲ掲記シ加盟員數ニ關係地主數ヲ計上スルコト

第十四號樣式

土地立入禁止、立毛差押其他執行調(自 月) 年月日 警察署

種別	爭議發生場所	關係者數		執行面積又差押物件見積價格	執行狀況	執行月日	終結狀況
		地主	小作人				

注意

一、本調ハ土地立入禁止假處分、立毛差押處分、動産不動産差押處分ニ關スルモノニシテ、種別欄ハ以上ノ區別ニ依リ記入スルコト

二、土地立入禁止假處分及立毛差押處分ニ付テハ其ノ執行面積及田畑等ノ種別、動産不動産差押物件ノ見積價格ヲ記入スルコト

三、其ノ期間中ニ終結セサルモノハ終結ノ時ニ其ノ狀況ヲ報告スルコト

第十五號樣式

小作爭議ニ因ル多衆動員其他治安上注意スベキ事象調(月未現在) 年月日 警察署

種別	爭議發生場所	參加人員	關係組合名	狀况	結末ノ狀况

注意

一、種別欄ニハ多衆動員、小學校兒童同盟休校、警防団脱退、青年団脱退、在郷軍人会脱退、各種職員委員農會總代等ノ辭職、租税公課滞納等ノ區別ヨリ具體的ニ記載スルコト

二、動員ノ狀況欄ニハ動員ノ目的、動員ノ場所、犯案アラバ之ノ罪名及檢察人員ヲ明記スルコト

三、小學校兒童、盟休ニハ始期終期ヲ記入スルコト

四、同盟休校、公課滞納其他ヲ決議セルモ實行ニ至ラザリシモノモ之ヲ記載シ且其旨ヲ明カニスルコト

第二十五號樣式

報年		特高關係政黨本支部狀況調(年未現在)		年月日報	
名	稱	創立年月日	黨員數	支持団体	行動ノ大要
				団体員數	

警察署

注意

- 一、本調ハ左翼タルト右翼タルトヲ問ハズ特高關係ノ凡テノ政黨ヲ記入スルコト
- 二、支持団体中ニハ団体トシテ態度ヲ表明セザルモ實質上支持スルモノト認メラルモノヲモ記載スルコト
- 三、中心人物氏名ニハ役員ナルトキハ役名及支持団体ヲ記載スルコト
- 四、本部ノ黨員ハ直屬黨員ノミヲ記載シ支持員數ハ之ヲ記載セザルコト
- 五、支部黨員ニシテ會費ノ關係上本部ニ届出ヲ為サズシテ事實上黨員ト認メラル者ハ別ニ朱書スルコト
- 六、聯合會直屬員數ハ其ノ旨明記スルコト從テ聯合會直屬員數ト各支部員數ノ集計ハ聯合會ノ總員數タルモノトス
- 七、分會ハ別個ニ記載スルヲ要セス

第二十六號樣式

報年		特高關係政黨(又ハ団体)所屬議員數調(年未現在)		年月日報	
政黨 (団体) 別	種別	貴族議	道府縣議	市議	區議
		町議	村議	農會議	備考

警察署

注意

- 一、本調ニ於ケル區會議員ハ市制第六條ニ依ル區ノ議員ヲ謂フ
- 二、備考欄ニハ特ニ地方的特色アルモノノ如キヲ記入スルコト
- 三、朝鮮人(臺灣人)ニ付テハ別紙ニ認ムルコト
- 四、所屬政黨アルモノハ政黨名ニ記載シ全然政黨關係ナキモノハ団体名ヲ記載スルコト

第二十七號様式

國家主義ヲ標榜スル犯罪檢挙調(年中)

年月日 警察署

検挙月日	団体名	氏名	罪名	件数	人員	處分	備考
一、三、〇	何々會	何々	恐喝	五	二	懲役六月	遊訴中
二、一、七	何々會	何々	暴力行爲	三	三	懲役二月	
二、一、九	何々會	何	強談威迫	一	二	拘留五日	
二、二、一	何	何	脅迫	一	一	懲役二月	

注意

一、本調ハ國家主義団体員ハ國家主義ヲ標榜シテ爲セル犯罪及団体員ニ非ズシテ愛國ノ名ノ下ニ爲セル犯罪ヲ洩シテ登載スルコト

二、本調ニハ送局セルモノヲ記載シ、違警罪ニ在リテハ處罰ヲ爲シタルモノノミヲ掲グルコト

第二十八號様式

類似宗教團體調(年未現在)

年月日 警察署

系	統	團體	名稱	創立年月日	中心人物	教信徒數	本支部關係

注意

一、本調ハ公認宗教団体(神道十三派、佛教五十六派)及教會設立ノ届出アリタル基督教)所屬ノ寺院教會、在教所等ヲ除キ其他ノ諸宗教団体總テ調査スルモノトス

二、神道系 神教系 基督教系 神佛混淆等ニ区分シテ可成各別紙トスルコト

三、組織他府縣ニ亙ル主要団体ハ各団体毎ニ別紙トスルコト

四、本支部關係欄ニ団体ノ名稱ニテ本支部ノ關係ヲ識別シ得サルモノニ付本支部ナリヤ單獨団体ナリヤ又ハ如何ナル地ニ本部ヲ有スル団体ノ支部ナリヤ等ノ關係ヲ記載スルコト

第三十一號樣式

勞働團體經營共濟教育其他施設調(年未現在)

年月日 警察署

名称所在地及 創設年月日	参加人員	經營又關係 団体名	中心人物	經營方法	事業概況(成績)

注意

本表は共濟教育、宿泊、人事法律相談、娛樂醫藥等、諸施設付テ記載シテ該種別
ヲ異ニスル毎ニ別紙トスルコト

第三十二號樣式

消費組合調(年未現在)

年月日 警察署

系統	組合名称、所在地及創設年月日	機關紙名及發行部	資本金	組合員數別數	中心人物	經營活動	政黨、勞働農民団体、經營又持連絡關係	備考

注意

一、系統欄ニ元日本消費組合聯盟、消費組合聯合會、學生消費組合等、名称ヲ記載シ且正式加盟ノモノハ「加盟」連絡取引關係ニアルモノハ「系」ト記載ス

二、地方聯合會又ハ縣聯合會ニアリテハ加盟組合ノ次欄以下ニ各別ニ記載シ一纏トナシ置クコト

三、經營活動ハ取扱品、概要及一年間ノ賣上高、損益額ヲ記載スルコト

四、產業組合法ニ依リ組織セラレタルモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

第四十五號樣式

報 年

朝鮮人借地借家其他紛爭議調(年中)

年

警察署

計	其他	借款	借地	紛爭議調		紛爭議調
				件數	人員	
				土地 退村	同	同上
				家屋 退村	上	同上
				耕畜 退村	原	同上
				其他	因	同上
				計		同上
				糾紛 未結	上	同上
				強迫 執行	形	同上
				其他	態	同上
				計		同上
				要求 撤回	上	同上
				協定	結	同上
				撤回	果	同上
				減消		同上
				其他		同上
				計		同上

第四十六號樣式

報 年

朝鮮人(臺灣人)關係刊行物調(年中)

年

警察署

題號	刊行年月日	發行日及回数	行部數	領布區域	活版騰字版刷別	發行人	團體關係	備考

注意

非合法出版物ハ題號欄右肩ニ△印ヲ附スコト

第四十七號樣式

報年

朝鮮人保護救濟狀況調(年中)

年月日報
警察署

計	其他	失業救濟	人事相談	孤獨者保護	行路病者保護	醫療	救貧	職業紹介	保護救濟別		備考
									區分	分	
									男	警察署 取扱件数	
									女	方面委員 其他社会事業 取扱件数	
									男		
									女		
									計		
									男		
									女		

第四十八號樣式

事業主團體名簿

警察署

所在地		事務所					名稱			創設年月日	支	部	地域別	職業又ハ 産業別	維持方法
年 月 日 移 轉	年 月 日 移 轉	年 月 日 移 轉	年 月 日 移 轉	年 月 日 移 轉	年 月 日 改 称	年 月 日 改 称	年 月 日 改 称	年 月 日 改 称	年 月 日 改 称						

力 勢 ノ 体 團							
略 歴	月 及	生 年	職 業	氏 名	住 所	者 ノ	主 幹

數員ノ其及種業ノ員体團	(トノ添別等規會)領綱ハ又肯趣 ヲ附紙ハ約則
	類 種 ノ 業 事

關係者	中主ナ	儿者ノ	住所	氏名	職業	生年月	又略歴

行	動
	(本欄ハ適宜伸縮スルコトヲ得)

注意

- 一、支部多数ニシテ記載スルコト能ハサルトキハ其ノ主ナルモノヲ記載シ其他ノ人数クニシテ記載スルニ止ルコト
- 二、地域別ハ団体員ノ範圍ヲ標準トスルコト
- 三、職業又ハ産業別ニ中
 - イ、職業別ニハ昭和五年十二月二十七日ノ閣訓令第三號ノ小分類ニ依ル職業ヲ同ジラズルモノヲ以テ組織スルモノ例ハ鑄物業者ヲ以テ組織スル「造船業者」造船業者ヲ以テ組織スル「造船業者」ノ如キモノヲ記載スルコト
 - ロ、産業別ニハ前號訓令ニ依ル職業ヲ異ニスルヲ以テ組織スルモノ例ハ鑄物業者、造船業者ヲ以テ組織スル組合、如キモノヲ記載スルコト
 - ハ、及ニニ属セザル団体アルトキハ「職業又ハ産業別」ニ具体的事實ヲ記載スルコト
- 四、「維持方法」ハ會費一人何程ヲ徴シ又ハ有志ノ寄附ニ依ル等簡單ニ記載スルコト
- 五、「団体ノ勢力」ハ其ノ団体内部ノ團結力強弱ハ勿論外部ニ村スル數カハ成ルベシ具體的ニ記載スルコト

第四十九號樣式

勞働團體名簿

警察署

所在地				事務所					名稱		創設年月日						
年	月	日	移轉	年	月	日	移轉	年	月	日		改稱	年	月	日	改稱	
産業別				職業又ハ				地域別		支		部		名稱所在地		設	

團體名稱及員數		工場鑛山等		團體員所屬	
會計經理會					
				基金	
				入	
				概	
				要	
				同	
				上	
				支	
				出	
				方	
				維	
				持	
				法	

主ナル役員ノ住所氏名生年月日職業略歴

事業ノ種類	(トニ添別業室規會)領網ハ又青趣		
力勢ノ体團	係關党政	誌雜聞新開機	
			題名
			発行期日
			部一回発行数
			定一部價

第五十號樣式

準勞働團體名簿

年 月 日
警 察 署

名 稱	創 立 年 月 日	團 體 所 屬 員 之 種 類	數 及 聯 合 (同 盟) 團 體 八 會 員 數 並 加 盟 團 體 名	細 又 趣 旨 綱 八 旨 領
		何 人 何 年 何 月 何 日 現 在	何 人 何 年 何 月 何 日 現 在	
事 務 所 所 在 地	維 持 方 法	支 部	地 域 別	職 業 及 產 業 別
				機 關 新 開 辦 誌

事 業 並 行 動
主 十 儿 後 員 住 所 氏 名 生 年 月 職 業 略 歷

第十號樣式

(勞働)
(事業主) 團體 (聯合)
(同盟) 會名簿

警察署

所在地		事務所		名稱		支		創	
年 月 日 更	年 月 日 更	年 月 日 更	年 月 日 更	年 月 日 更	年 月 日 改 稱	年 月 日 改 稱	年 月 日 改 稱	年 月 日 改 稱	年 月 日 改 稱
全 業 別	職 業 又	別	域	地	部	支	支	創	立
								年 月 日	年 月 日
							名		
							稱		
							所 在 地		
							設 立 年 月 日		

聯合(同盟)會教員及加盟團體名

--

會計經理會

	基 金
	收 入 概 要 ノ 上 月 間
	同 上 支 出 概 要
	維 持 方 法

主 十 儿 役 員 ノ 住 所 氏 名 生 年 月 職 業 略 歴

事 業 ノ 種 類	(ト 三 添 別 等 宣 規 念) 領 綱 ハ 又 有 趣		
力 勢 ノ 体 團	係 關 党 政	誌 雜 聞 新 聞 機	
			題 名
			発 行 期 日
			一 回 発 行 部 数
			一 部 ノ 定 價

行	動
(本欄へ適宜伸縮スルコトヲ得)	

注意

一、事業団体ノ聯合(同盟)會ハ事業主団体名簿ノ労働団ノ聯合(同盟)會ハ労働団体名簿ノ記載例ニ準ルコト

二、政黨關係欄ハ労働団体ニ限リ記載スルコト

第五十二號様式

労働争議(甲類)報告表

年 月 日 報
警 察 署

計	女	男	當該工場鑛山等ニ於テ使用労働者總數 同上作業別争議参加人員數	争議發生 年月日	全争議期間 自 年月日 至 年月日	工場閉鎖期間 自 年月日 至 年月日	同盟罷業期間 自 年月日 至 年月日	同盟怠業期間 自 年月日 至 年月日	事業種類	事業名(法合上ノ名称)	工場鑛山等ノ名称	争議發生ノ場所	資 公 本 称 全 額 拂込額	企業系統 前期損益状況
				争議終結 年月日	争議期間 自 年月日 至 年月日									

調停者ノ 種別並ニ 調停成否	争議参加者ノ如盟スル 会並其ノ所 属組合系統	事業主ノ 如盟スル 事業主用 体名並應 援状況	争議發生 ヲ見ルニ 至リし事 情ノ概要
	應援労働 組合名並 其ノ所属 組合系統		

要 求 事 項
(Blank space for requirements)
解 決 條 件
(Blank space for resolution conditions)
要 求 事 項 ニ 対 シ テ 争 議 生 ず ル 時 ノ 勞 働 條 件
(Blank space for dispute-free labor conditions)

備考	日数	損失 作業者 ノ損失作業延日数 右ノ外罷業者又ハ工場閉鎖者 ノ損失作業延日数	争議ノ基					事業主側	労働者側
			罷業者ノ延日数	解雇者ノ延日数	争議ノ失費	事業主側ノ損害	事業主側ノ損失		
犯罪関係等	計	計	計	計	計	計	計	計	
	日	日	日	円	円	円	円	円	
	貸銀額	受ハカリシ	争議ノ費用	事務所費並給費	漢語會印刷宣傳費	交通通信費	應援者ノ延日諸費	其他ノ租費	
	計	計	計	計	計	計	計	計	
	円	円	円	円	円	円	円	円	
			行商利益金	寄附金額	本部員給額	各人職出額	各人職出額		
			消費組合等						
	円	円	円	円	円	円	円	円	

注意 備考欄ハ左ノ事項ヲ記載スルコト
 一 犯罪検挙ノ有無
 二 當該工場 鑛山内ニ数箇ノ組合存在スル場合ハ各其ノ名称 各所屬組合員數(男女別)所屬系統 斗争態度

第五十三號様式

事業		事由	解雇		事業主名	公称資本金	工場鑛山等ノ名称	所在地	事業ノ種類	事由發生年月日	解雇年月日	本年停業日	養生年月日	豫告手當	旅費	規約共済積立其他	其他措置
休業 縮止 其他	因ル		男	女													
計	計																

年月日 警察署

被解雇勞働者之歸趨狀況

第五十四號樣式

小作人(地主又ハ地主小作人協調的)團體名簿

警察署

網領	又ハ	趣旨	團體員ノ種類及數	團體組織ノ地域	創立年月日	名稱	
略歷	年 月	氏名 出生	係者住所 及主ノ關係	主幹者	政黨關係	維持方法	事務所所在地

事 業 並 行 動

(本欄へ適宜伸縮スルヲ得)

第五十五號様式

小作争議(發生經過)報告表

年 月 日 報 察 署

要求事項	争議ノ發生ヲ見ルニ至リシ事情(原由)	争議關係地主ノ加盟スル地主団体名並其ノ所屬団体系統	争議關係人 員	争議發生ノ場所	争議發生年月日	争議關係地種類及面積	争議關係地
			地主 小作人	人 人			
從前ノ小作條件							
解決條件							

備考 (犯罪關係 其ノ他)	経過及 結果	争議ノ

注意

- 一、報告書ニハ發生經過、解決ノ區別ヲ明記スルコト
- 二、要求事項カニ以上アル場合ハ主タル要求トヨ區別スルコト
- 三、要求事項若ク解決條件タル小作料其他ニ關シ數量金額、割合等判明セルモノハ之ヲ示シ成ルベク従前ノモノト比較スルコト
- 四、小作料ノ減額ヲ要求スルモノニ付テハ其ノ年限スハ永久減額等ノ區別ヲ記入スルコト
- 五、本表記載中複雑ニシテ該當欄ニ記載シ難キモノハ別添トスルモ支障ナシ

第十六號樣式

特高關係政黨名簿

年月日
警察署

組織地區	色彩	所屬系統及加盟年月日		名稱			
		年	日	年	年	年	年
				改月	改月	改月	創月
				終日	終日	終日	立日
法方持維		所務事					
		基金	會費				
				年	年	年	年
				移月	移月	移月	設月
				轉日	轉日	轉日	置日

政黨員種類及數

政黨	種類	數	支持組織	
			年次	種類

連 絡 団 体 名	
	引込種類
	名
	称
	所在地
	団体種類
	名
	称
	所在地

支 部 分 會							
							名
							称
							員数
							事務所所在地
							主幹者ノ役名

創立	至	ル迄	ノ	過	行	動
(本欄、適宜伸縮スルコトヲ得)						

第五十七號式

特高關係政黨(國家(農本)主義思想團體)候補者表

年 月 日 警察署

選舉種類及 選舉區別	選舉 期日	候補者ノ氏名住所 職業、年令、経 歴ノ大要	資本信用程度 並選舉上有権 者信賴ノ程度	運動資金 額及 所 費 程度	他ノ政黨 ニ及ボス影 響 程度	所屬支部名 及黨員數	擁立政黨名 擁立事情 各種支持團體	選挙事務長氏名 及選挙運動者氏名

注意

- 一、本表ハ立候補届出(推薦届出)アリタル後直ニ申報スルコト
- 二、経歴大要欄ニハ前科ノ内容ヲ併記スルコト
- 三、調査未了事項又ハ記載事項ノ異動ハ追報スルコト

事業並行動概況

(本欄へ適宜伸縮スルコトヲ得)

注意

本名簿ハ左翼的消費組合ハ勿論、學生消費組合、其他労働団体、農民団体ノ經營スル消費組合等廣ク特高警案上注意ヲ要スルモノニ付作成スルモノトス

第六十一號様式

朝鮮人(臺灣人)又ハ朝鮮(臺灣)問題ニ関スル団体名簿 警案累

団体種類	主義系統	団体			団体種類	名称			事務所	基金	收入	備考
		員数	年 月 調	年 月 調		年 月 調	年 月 創立	年 月 改称				
内地人	朝鮮人(労働者、學生等ニ區別)	調	調	調								
		調	調	調								
		調	調	調								
		調	調	調								
		調	調	調								

主幹者	其他	中心	人物	住	所	氏	名	年	令	並	其	ノ	經歷

主 義 綱 領 宣 言 規 約									
支 部 分 會 名 及 其 所 在 地					機 關 紙 題 察 部 印 所 閣 ノ 名 行 教 刷				

24

事 業 並 行 動

(本欄ハ道宜伸縮スルコトヲ得)

注意

- 一、朝鮮人(台湾人)団体トハ朝鮮人(台湾人)ノミヲ以テ、若ハ主トシテ朝鮮人(台湾人)ヲ以テ組織スル団体ヲ謂フ 惣括
- 二、本名簿ハ勞働団体救済団体其他朝鮮問題(臺灣問題)ニ關スル一切ノ団体ニ付作成スルコト
- 三、備考欄ニハ(イ)勞働団体ナラハ所属工場、會社名、稼働場所等、組織範圍(ロ)他団体トシテ關係殊ニ支持政費(ハ)其他参考トナルベキ事項ヲ記入スルコト
- 四、主義綱領、宣言、規約長文ニ亘リ該當欄ニ記入シ能ハザルトキハ別紙トシテ添附シ、其旨記入ト置クコト

趣旨綱領 會則宣言			

紙聞機				會員種類	教員會		事務所			名稱		
印刷所	発行度数	発行部数	題名		年月日 人調	年月日 人調					改年 月 日	創年 月 日
月年 調	月年 調	月年 調	月年 調		月年 人調	月年 人調	移年 月 日	移年 月 日	移年 月 日			
月年 調	月年 調	月年 調	月年 調		月年 人調	月年 人調	移年 月 日	移年 月 日	移年 月 日	基金		
					分會, 支部, 所務部		方法	維持	收入			
月年 調	月年 調	月年 調	月年 調									
月年 調	月年 調	月年 調	月年 調									
月年 調	月年 調	月年 調	月年 調									

六十二號樣式

(何々)團體名簿

年
月
日
警
察
署

改年
月
日
改年
月
日

事業並行動ノ概要

主幹者心中人物及主として會員ノ所住氏名生年日経歴

第六十三號様式

治安維持法違反及検挙者調

年月日 警察署

署名	氏名	年齢	検挙年月日	犯罪被疑事實	本籍	田舎関係(地位)	學歷	職業備考

注意

- 一、本欄ニハ少クトモ犯罪アリト認メタルモノノ記載ニ参考ノ程度ノモノハ之ヲ除外スルコト
- 二、犯罪被疑事實ハ検挙當時ノ見地ニ依リ組織ヨリ地位其他運動ノ概況ヲ簡潔ニ記載スルコト
- 三、団体關係ハ検挙當時ノ団体ヲ記載シ其ノ地位ヲモ併記スルコト
- 四、職業ハ検挙當時ノ職業ヲ記載スルコト
- 五、年令ハ検挙當時ノ数ハ年ヲ記載スルコト

第六十四號様式

差別事件發生(解決)報告

年月日 警察署

事件發生年月日	發生場所	差別者及被差別者住所職業氏名・年令	事件ノ概要	事件ニ係在セル団体名	取締行政處分状況

第十五號樣式

類似宗教團體名簿

年 月 日 報
警 察 署

名稱	宗教系統	祭祀 神佛	神體	神寶	維持 經營 方法	事務所	開教 年月日	布施 概況	教徒					
									信者	信者	信者	信者	信者	
	註 神道何々派ヨリ分派ス又ハ佛教何 宗何派ノ流ヲ汲ム								年度 替後	信者	年度	信者	年度	信者
									某年	某年	某年	某年	某年	某年

機關紙

註 支部ニアリテハ特ニ其支部ニ於テ祭行
ノモノノハ掲記スルコト

教 義 及 規 則

註、支部ニアリテハ當該支部独自ノニ義及教規ナキ限リ省略スルコト

布教ノ状況

- 註
- 一、警察取締ノ対象トナルベキ布教行為(反團體的所談豫言虚説ノ流布又ハ献金要求ノ治病行為等)ヲ調査収録スルコト
 - 二、教団ノ一般の動向ヲ知ルニ足ルベキ事項ノ記述ニ努ムルコト
 - 三、時宜ニ依リテハ取締ニ対スル将来ノ方針意見等ヲ附記スルコト

第六十六號様式

教會所名簿

月日報
警察署

名稱	宗派	祭壇 神像	神像 體	神像 室	維持 經費 方法				本部 或支 部ノ 關係
					者數	徒 信	教 壇	機 關 紙	
					某年	某年	某年	某年	
					某年	某年	某年	某年	
					某年	某年	某年	某年	
					某年	某年	某年	某年	

况 状 ノ 教 布

補 助	外 務	田 体	况 况	教 者	ル 布	主 十	又 八	幹 部	教 壇 於 地 位
									本 籍 住 所
									職 業
									氏 名 年 令
									略
									歴

附 属 概 况

本籍	住所	職氏生	雇住	行	帰鮮明家	至
		氏年月	所氏名	光地	期	許可警察署印
		日	主名		間	期
	(氏名)	年				
		日				
		日				

寫真貼付

第七十二號樣式

一時歸鮮證明書下附報告(月中)

年 月 日 警察署

下附年月日	期	間	本	籍	住	所	氏名	年令
		自 至						
		月 月						
		日 日						

第十一號、第十六號樣式
ニ依ル報告作製等ノ參考

產業別分類表

一工業

1 窯業、土石加工業

瓦、土管製造。煉瓦製造。陶磁器、土器製造。硝子、硝子品製造。七寶燒、瑛瑯品製造。セメント、石灰、石膏類製造。セメント品、人造石製造。其ノ他ノ土石類加工業。

2 金屬工業

精鍊業。金屬壓延業。電鍍製造。電煉、鍛冶業。鑄造業。釘、鉄、針類製造。金屬薄板品製造。鋼索製造。針金細工。建築用家具金物製造。鍍金業。其ノ他

ノ金屬工業。

3 機械器具製造、裝置業

金屬工用、木工用機械器具製造。採礦、鑿鑿、精鍊用機械器具製造。紡績機械器具製造。農業用、土木建築用機械器具製造。銃砲、彈丸、水雷製造。

原動機製造（汽機、瓦斯發生機ヲ含ミ電動機ヲ除ク）。電動機、電氣機械器具製造。電氣通信機械器具製造。電球製造。其ノ他ノ機械器具製造。電氣機械器具裝置。其ノ他ノ機械器具裝置。

4 造船業、運搬用具製造業

造船業。鐵道軌道車輛製造。航空機製造。自動車、自動自轉車製造。自轉車製造。其ノ他ノ運搬用具製造。

5 精巧工業

度量衡器、計測器、科學的機械器具製造。光學機械器具製造。醫療機械器具製造。樂器製造。時計製造。貴金屬、寶石、飾石細工。

7 紡織工業

生絲製造。人造絹絲製造。真綿製造。綿製造。絹絲紡績。毛絲紡績。麻絲紡績。綿絲紡績。撚絲業。麻絲撚絲返業。絹織物製造。毛織物製造。麻織物製造。綿織物製造。莫大小、莫大小品製造。編物、組物類製造。網、網類製造（藻製品ヲ含マズ）。刺繡業。其ノ他ノ紡織、紡績品製造。漂白、精練、染色、捺染等ノ絲布加工、湯熨斗、浸拔、洗張、洗濯業。

8 被服、身裝品製造業

衣服裁縫業。帽子製造。足袋、シャツ、肩掛類製造。袋物製造。扇子、提燈、傘、合羽類製造。洋傘杖類製造。履物類製造。靴製造（護膜靴ヲ除ク）。其

6 化學工業

藥品、賣藥、賣藥類似品製造。染料、顏料、塗料製造。肥料製造。火藥、其ノ他ノ發火物製造。燐寸製造。護膜、護膜品製造（護膜靴ヲ含ム）。セルロイド、セルロイド品製造。（セルロイド玩具ヲ含ム）。
礦物油精製。動植物油脂製造。石鹼、化粧品製造、木蠟、蠟製品製造。煉炭、炭酸炭製造、乾餾。其ノ他ノ化學工業。

ノ他ノ身裝品製造。

9 紙工業、印刷業

紙料、紙製造。紙製品製造。製版、印刷業。核具業。寫真業。製本業。

10 皮革、骨、羽毛品類製造

皮革、擬革、其ノ製品製造。骨、角、甲、牙、貝類細工。刷毛、其ノ他ノ羽毛品類製造。

11 木竹草藁類ニ關スル製造業

製材、合板製造。屋根板製造。建具、家具、指物類製造、裝置。櫛、桶、木箱類製造。刳物、木地、曲物製造、漆器製造。壘表、花藁、真藁類製造。盤製造。藁、麥稈、經木、棕枳細工、籐、行李類製造、其ノ他ノ木竹草藁品製造

12 製鹽業

製鹽業。

13 飲食料品製造業

精穀業。製粉。澱粉製造。麵類、麩、湯葉、豆腐、蒟蒻製造。菓子、麵包、水飴製造。砂糖類製造、糖製造、味噌、醬油、酢醱造。和酒醱造。麥酒醱造。其ノ他ノ酒類醱造。清涼飲料製造。罐詰、罐詰醱造。屠畜、畜產品製造、鹽乾魚介節類製造。海產、其ノ他ノ水產食料品製造。蔬菜、果實類加工品製造。製茶業。製氷、冷藏業。其ノ他ノ飲食料品製造。

14 其ノ他ノ工業

四 土木建築業

土木建築ニ關スル業。

五 瓦斯、電氣、水道業

瓦斯發生、供給業、電力發生、供給業、水道業。

六 農業

1 農耕

農作、園藝、

2 畜産

養畜。搾乳。養禽、養蜂。

3 蠶業

養蠶。蠶種製造。

4 其ノ他ノ農業

5 林業

森林業。木炭製造。其ノ他ノ林產物業。

映畫製作。防水布、油布、リノリウム類

製造。文房具製造。運動用具、遊戲品、玩具製造(セルロイド玩具ヲ除ク)。造花。押繪類製造。印刷業。其ノ他ノ工業

二 鑛業

1 採鑛業

金屬鑛業。石炭鑛業(亞炭ヲ含ム)。

石油鑛業。其ノ他ノ採鑛業。

2 土石採取業

土石採取業。

三 運輸交通通信業

鐵道、軌道、乗合自動車業。自動車運

運輸業。人力車業、其ノ他ノ車馬運

輸業。船舶運輸業。航空業。ラヂオ

放送業。其ノ他ノ運輸。通信業。運

輸取扱業。

七 水産業

一 漁業

漁撈、採藻。魚介藻養殖。工船漁業

八 日傭労働者

註

本分類ハ昭和五年十二月二十七日内閣訓令第三號「國勢調査ノ結果表章ニ用フベキ産業分類及職業分類」ニ準ジ之ヲ作成セリ

甲特高秘發第四六七號

昭和十六年十二月四日

警察部

警察署長殿

諸報告ノ廢止等ニ關スル件

昭和十四年十一月三十日收訓特高秘發第...號特

別高等警察執務心得其他ニ基クテ記諸報告

並取扱ニ付當分ノ間之ヲ廢止又ハ一部変更致ス

コトト相成候條此致依命及通牒候也

進而右ハ決戰體勢下ニ於ケル官廳事務整備

ノ為以部的事務ノ簡捷ヲ圖リタルモノニシテ毫モ

視察取締ヲ緩和セラレタルモノニ非ザルハ勿論

寧ロ其ノ餘カヲ以テ益々實質的ノ視察取締ノ

強化ヲ要請スルモノニ就テハ克ク其ノ趣旨ノ徹

底ニ圖リ實效ヲ擧グルニ萬遺憾ナキヲ期セラ

レ度



記

一 左ノ報告ハ當分ノ間之ヲ廢止ス

一月報

1 治安維持法違反起訴者調

(執務心得第九六條 第二號様式)

2 労働争議(乙類)報告表

(執務心得第九六條 第三號様式)

3 労働争議ニ關スル犯罪檢挙調

(執務心得第九六條 第四號様式)

4 小作争議ニ關スル犯罪檢挙調

(執務心得第九六條 第五號様式)

5 不正渡航朝鮮人調

(執務心得第九六條 第六號様式)

6 特別要視察人視察状況報告

(視察以規第十三條第十七條 第四號様式)

三年報

1 治安維持法違反檢挙状況調

(執務心得第九十八條 第十九號様式)

2 學生ニ對シテ九翼運動團係檢挙者調

(執務心得第九十八條 第二十一號様式)

三 臨時報告

1 治安維持法違反檢挙者調

(執務心得第九九條 第六十三號様式)

2 朝鮮人一時歸舞臺州書發給ニ關シテハ九二掲ルル

場合ハ稟由ヲ要セス

其ノ署管内ニ一年以上在位シ

ル一戸ヲ構ヘ家族ヲ殘シ般未確實ト認ムルモノ

三 独身者ニ在リテハ適當ナル身元引受人ヲ有スル
モノ又ハ事情ニ依リ般來確實ト認ガルモノ
但シ聚妻ヲ目的トシテ般解スル場合ハ稟申ヲ要
ス

以
上

0093

甲特高秘發第四六八號

警 察 署 長

諸報告廢止ノ義ニ付内示

警察事務ノ簡易化ヲ圖ルニ為ル今尤記諸報
告ハ當分ノ間之ヲ廢止可致ニ付此旨心得マレ

昭和十六年十二月四日

警 察 部 長

記

一 要視察人視察狀況報告（月報）

昭和十一年五月十五日甲特高秘發第一六七號

右翼特別要視察人視察取締三附スル件

二 翼賛壯年團活動調（月報）

昭和十六年七月十日特高秘發第二六九號收示